

# 新4K8K衛星放送伝送用 周波数変換装置

共用部工事のみで既存設備をそのまま利用し、  
新4K8K衛星放送の視聴可能な設備に改修できるシステムです。



周波数変換装置  
ダウンコンバーター  
**SLDN32C**



周波数変換装置  
アップコンバーター  
**SLUN32C**

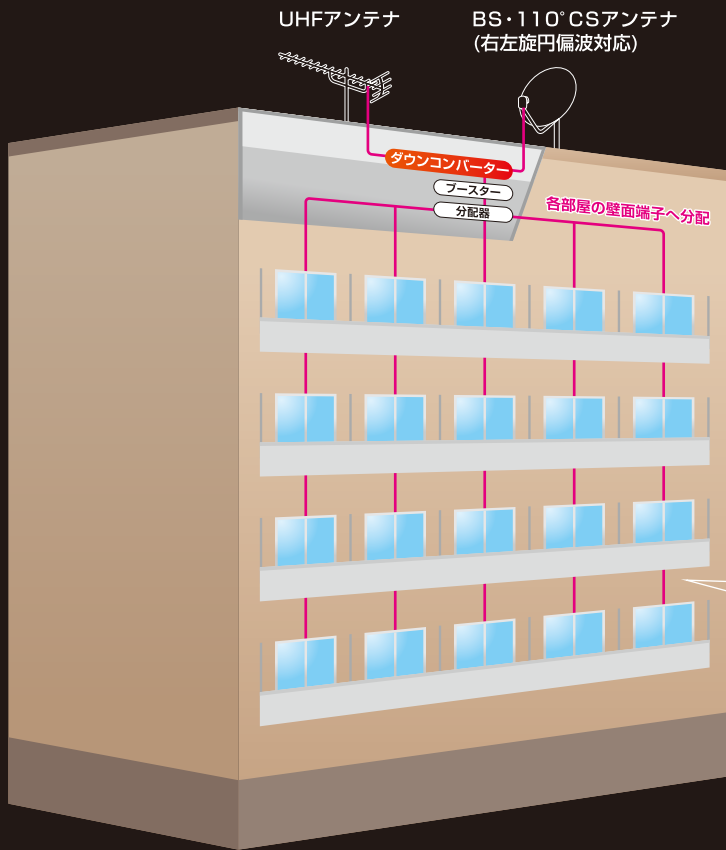
機器交換だけでは、改修が困難な集合住宅用の周波数変換装置です。BS アンテナ直下で周波数変換を行い、4K8K チューナー入力手前で周波数を元に戻して使用します。現在の放送波8波(今後予定されている1波含む)を伝送でき(周波数帯による)、ダウンコンバーターとアップコンバーターは1:nの運用が可能です。

※衛星放送アンテナ及び増幅器は交換が必要となります。

接続例や周波数の変換方法については裏面をご覧ください。

## 4階建20世帯での接続イメージ

共用部工事のみで既存設備をそのまま利用し<sup>※1</sup>ダウンコンバーター・アップコンバーターを追加で設置することで新4K8K衛星放送が視聴可能になります。<sup>※2</sup>



### ダウンコンバーター



### アップコンバーター

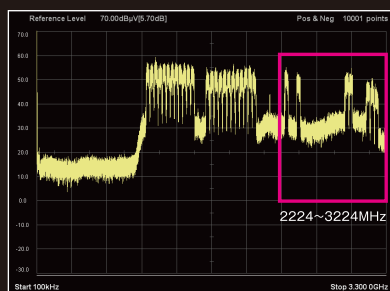


※1 : BS-110°CSアンテナが新4K8K衛星放送(3224MHz)に対応していない場合は交換が必要です。またCATV帯域に対応していないブースターをご使用中の場合は交換が必要です。

※2 : CATVを利用しテレビを視聴している建物では利用できません。

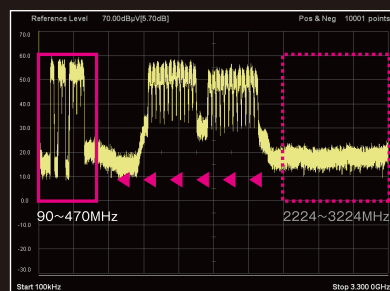
## 周波数変換測定画面

### ・アンテナ受信時



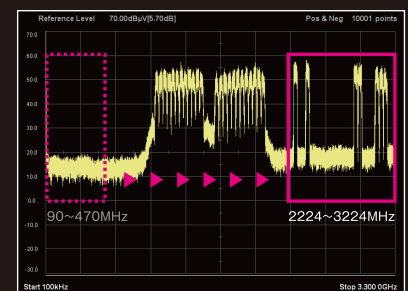
新4K・8K衛星放送の電波

### ・2150MHz 機器での伝送時



新4K・8K衛星放送の電波を  
90~470MHz帯へダウンコンバート

### ・各世帯でのTV視聴時



新4K・8K衛星放送の電波を  
2224~3224MHz帯へ復元